

# 主要コレクション(貴重図書)の紹介

## フレデリック大王全集(全33巻)

フレデリック大王はプロシア王で、オーストリア継承戦争や七年戦争で勝利をおさめ、官僚機構と軍政を整えて絶対主義体制を確立し、プロシアをヨーロッパの強国に押し上げた人物である。本書はフレデリック大王の用兵の戦術、戦略を研究するに最も優れた資料といわれるもので、1840年から10余年の歳月を費やし、ベルリンの王立印刷所から刊行されたものである。

## クセノフォン全集

クセノフォンは紀元前4、5世紀のギリシャの将軍で、歴史家、哲学者としても有名である。アテネ・スパルタ・小アジアの各地で転戦したのち文学活動に転じてギリシャ史や彼自身が参加した戦争の歴史、ソクラテスの言行、弁明・餐宴等の哲学・思想に関する著作を残した。本書は1555年刊行のギリシャ語、ラテン語対照の全集で、羊の皮革装丁の世界的にも価値の高い稀覯書である。

## 遺墨(掛軸)

本校所蔵の遺墨は、旧陸海軍人、文人墨客、幕末から明治期にかけて活躍した人々の書が中心で、吉田松陰書幅(夏目漱石旧蔵)をはじめ、勝海舟、山岡鉄舟、高橋泥舟、桂太郎、東郷平八郎、乃木希典ほか、約90本を保存している。



(フレデリック大王全集)



(クセノフォン全集)



(遺墨)

※ 貴重図書の閲覧を希望される場合には、所属している大学図書館もしくは公共図書館からの申請が必要です。

## 特殊文庫

総合情報図書館においては、「有馬文庫」、「榎文庫」などの貴重書をマイクロフィルム資料に変換して、利用しやすい環境を整備しています。

### 有馬文庫

有馬文庫は、昭和32年から33年に海軍兵学校33期卒業の元海軍軍人(海軍少将)である有馬成甫氏より寄贈されたものである。(一部有馬氏から購入)

これらの図書は中国・朝鮮・日本の兵学書類であり、中国兵学書類は、孫子や呉子に代表される「兵法」関係、明代の対倭寇の海防関係、清末における西洋列強の武備紹介関係の3つに大別されている。

### 榎文庫

初代学校長榎智雄氏旧蔵で、政治哲学、思想史を中心に明治期に国内知識層に影響を与えた欧米の原書を数多く所蔵しています。その中には、カルヴァンの「キリスト教綱要」(羅語1625公刊)の英訳本等貴重書もある。



(有馬文庫)



(榎文庫)